

愛知県知事 大村 秀章 様

新型コロナウイルス感染の重症化を防ぐため公費助成を求めます

2024年8月9日

日本共産党愛知県議会議員 しもおく奈歩

日本共産党愛知県委員会委員長 石山淳一

新型コロナウイルスの感染者数が急増し、第11波が到来したと言われていています。現在、流行しているオミクロン株の変異株「KP.3」は感染力が強いと言われ、厚労省が26日に発表した全国の定点医療機関から報告された新規感染者数は、7月15日から一週間で6万7334人となりました。5月上旬から11週連続で増加しています。愛知県内では定点医療機関から報告された新規感染者数が4059人（7月15日～7月21日）になり、入院患者数は今年2月下旬の111人以降はじめて100人を超え135人（7月8日～7月14日）になりました。

一方で新型コロナウイルスの治療への公的支援が全廃された結果、窓口3割負担の人の場合、コロナ治療薬である「ラゲブリオ」は約2万6000円、「パキロビッド」は約2万9000円、「ゾコーバ」は約1万5000円など非常に高額であり、「こんなにも高いなら我慢する」と処方断る人が増えています。PCR検査や抗原検査も有料になり、そもそも検査を受けない人もでています。このままでは感染が広がり、高齢者や基礎疾患のある人が重症化する懸念があります。

物価高騰のもと生活苦も続いています。県民の命と健康を守るためにコロナの治療薬と検査への公的援助が必要です。以下要請します。

記

- 1, 高すぎるコロナ治療薬とPCR・抗原検査への公費助成をおこなうこと
- 2, コロナワクチンの自己負担の軽減をおこなうこと

ワクチンの有効性・安全性について情報提供をおこない、県民の不安にこたえること。副反応の原因究明と被害者救済に万全を期すこと。

以上